

単 独

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・業務数量総括表)

2025 年度施行

広域廃棄物中間処理施設建設予定地接続道路基本計画策定委託

網走市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
 - 01 適用
 - 01 共通仕様書
 - 当該業務は、『北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書』（以下「共通仕様書」という。）に基づき履行すること。
- 03 工事発注前三者検討会
 - 1 当該業務は、重要構造物や複雑な仮設工、厳しい施工条件を有する等、現場施工プロセスを反映した質の高い設計や施工が求められる現場であることから、施工者への聞き取り当を実施し、当該設計及び現場プロセスに反映させること。
 - 2 検討事項は次のとおり想定している。
 - ・現場施工プロセス（工事搬入路）
- 02 個別事項
 - 01 目的
 - 3 設計業務
 - 当該業務は、広域廃棄物中間処理施設建設に伴い計画している管理用通路の予備設計を実施する業務である。
- 02 土木工事数量算出要領
 - 当該業務において、数量の算出を行う場合は次によること。また、これに定めのない事項については、業務担当員と協議すること。
 - 1 一般土木工事
 - 「土木工事数量算出要領」
 - 2 漁港工事
 - 「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 3 下水道工事
 - 「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 03 CALS/EC
 - 1. 電子納品

特記仕様書

- (1) 本業務は、北海道建設部制定の「情報共有・電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき、業務書類を電子成果品として納品する業務である。
- (2) 電子納品の対象書類は、「ガイドライン」を参考にし、業務担当員と協議の上決定するものとする。

2. 業務履行情報共有

- (1) 当該業務は、業務担当員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象業務である。活用にあたっては「ガイドライン」に基づき実施すること。
- (2) 当該業務で使用する情報共有システムは、次のものを推奨する。
 - ・推奨システム名：情報共有システム（簡易版）
 - ・ASP事業者：一般財団法人北海道建設技術センター

上記推奨システム以外の使用を希望する場合には、業務担当員と協議し承諾を得なければならない。

- (3) 業務担当員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。
また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、業務担当員と協議の上決定する。
- (4) 受注者は、情報共有システムのサービス提供者と次の内容を含めた契約をするものとする。
 - 1) 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整えること。
 - 2) 情報共有システムのサービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに業務担当員及び受注者に連絡を行い適正な処置を行うこと。
 - 3) 上記2)の場合において、情報共有システムのサービス提供者に重大な管理瑕疵があると業務担当員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者は情報共有システムのサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができること。
- (5) 情報共有システムを利用する業務担当員及び受注者の費用は間接費等の率分に含まれる。利用料金は情報共有システムへの登録料及び使用料である。
- (6) 受注者は、業務担当員から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。
- (7) 詳細については、業務担当員と協議すること。また、条件によっては活用を行わない場合があるので業務担当員と協議すること。

3. 要領・基準等

電子納品及び業務履行中の情報共有は、「ガイドライン」に基づき実施するほか、特に記載のない限り国土交通省の各規程類等を準用するものとする。

特記仕様書

4. 電子納品・業務履行中の情報共有の実施に伴う環境整備

- (1) 受注者は、電子納品及び業務履行中の情報共有を行うにあたり、必要なハード環境及びソフト環境を予め保有している、または手配可能なこと。
- (2) 本業務の契約締結後、受注者は「ガイドライン」に基づき、着手時協議チェックシートによりインターネット環境や利用ソフト、情報共有対象書類、電子納品対象書類等について業務担当員と協議すること。

5. 成果品

- (1) 本業務の電子納品対象書類は、以下により提出すること。
 - 1) 情報共有システム(簡易版)を利用した場合
情報共有システム(簡易版)にオンライン納品する。
 - 2) 情報共有システム(その他)を利用した場合、情報共有システムを利用できない場合(通信環境が悪く利用できないなど)
(一財)北海道建設技術センターに、電子データの登録を依頼し納品すること。
また、その際の費用は受注者が負担すること。
 - 3) オンライン納品対象外の場合
電子媒体により1部を電子成果品保管帳に格納して提出する。
なお、詳細については「ガイドライン」によるものとする。
- (2) 電子納品対象書類以外は、北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書により提出すること。

6. その他

電子納品及び業務履行中の情報共有の遂行にあたり疑義が生じた場合は、業務担当員と十分協議すること。

05 積算起点(旅費交通費の率を用いた積算)

積算起点は次のとおりとする。

- 1 積算起点：網走市
- 2 設計箇所：積算起点(網走市)～現場

08 業務内容

「概算工事費算出」については、市販の土木工事積算ソフトを用いて概算工事費を算出するものである。積算条件については、設計段階で把握できる範囲とする。

なお、積算基準や共通資材単価、刊行物に記載のない材料や歩掛を採用する場合は、設計時点でのメーカー等(1社で良い)から見積を徴取する作業を、本業務に含めることとする。

特記仕様書

03 業務打合せ

03 設計業務

当該業務の打合せは、次のとおり予定している。

また、中間打合せについては、当該事業担当課の職員も含めた打合せを行うことを予定している。

なお、打合せ回数に変更が生じた場合には、委託者と受託者との協議により設計変更する。

ただし、受託者の都合により申し出のあった打合せについては設計変更の対象外とする。

1 第1回打合せ（現場打合せ）

（1）打合せを実施する履行段階：業務計画書作成時

（2）打合せ場所（住所）：網走市役所 都市整備課事務室

2 中間打合せ（1回目）（現場打合せ）

（1）打合せを実施する履行段階：設計条件の照査後

（2）打合せ場所（住所）：網走市役所 都市整備課事務室

3 成果品納入時

（1）打合せを実施する履行段階：成果品納入時

（2）打合せ場所（住所）：網走市役所 都市整備課事務室

4 留意事項

第1回打合せ及び中間打合せを行う際は、業務担当員に実施状況等を記載した「工程表」を提出すること。

事業担当課との中間打合せを行う際は、事前に業務担当員と打合せ内容と確認事項等について整理しておくこと。なお、委託者の都合により、事業担当課との中間打合せ場所や回数に変更が生じた場合は、別途協議するものとする。

また、事業担当課との中間打合せの結果は、打ち合わせ簿に「事業担当課との中間打合せ結果」と明記し、打合せを行った事業担当課職員の所属・職・氏名を記載すること。

さらに、業務担当員を通じて事業担当課職員の確認（署名または押印）を必ず受けること。

04 提出成果品

33 設計業務

提出成果品は、次のとおりとする。

1 道路予備設計（電子成果品1式）または（原図1部・原稿1部・製本3部）

電子納品対象書類（電子納品の場合）

一般平面図 : 1/500または1/1000、着色

縦断面図 : V=1/100、H=1/500またはV=1/100、H=1/1000

特記仕様書

標準横断図	: 1/50～1/100
横断図	: 1/100～1/200（適宜変更可）
土積図	: 縮尺は適宜
構造物一般図	: 縮尺は適宜
流量計算書	: A4サイズ（用地補償の数量含む）
数量計算書	: A4サイズ（用地補償の数量含む）
概算工事費	: A4サイズ（用地補償の数量含む）
報告書	: A4サイズ（用地幅杭調書を含む）

- 25 その他
- 01 貸与品
- 01 貸与成果品

当該業務の履行に当たって、次のとおり資料を貸与する。

- 1 「令和7年度 広域廃棄物中間処理施設建設候補地現況測量委託」成果品
 - （1）成果品内容
報告書1部、図面（CD-R 1枚）、測量成果簿1冊
 - （2）引渡場所（時期）
網走市役所 都市整備課事務室

※当該業務は、履行中であるため資料が完成し次第、都度貸与するものとする。

- 2 「令和7年度 広域廃棄物中間処理施設建設候補地現況調査委託」成果品
 - （1）成果品内容
報告書1部、図面（CD-R 1枚）
 - （2）引渡場所（時期）
網走市役所 都市整備課事務室